

広報

やすらぎ

No.113 令和4年11月15日発行

多くの方から祝福をうけて
ぶなの園住民の健康を祝う集い

毎年敬老週間に開催している「ぶなの園住民の健康を祝う集い」、今年は9月16日の開催となりました。ご家族や関係各位へのご案内は断念したものの、町長はじめ多くの方よりお祝いメッセージが届き、また県知事が動画で配信しているメッセージはそのままステージに映してお披露目しました。今年100歳を迎えた高橋ナツさんには内閣総理大臣からのお祝い状と記念品が届いており、理事長が法人や町からの記



知事のメッセージは動画で



内閣総理大臣からのお祝い状をお披露目

念品と共にご本人に贈呈しています。なお、入所者の最高齢者は103歳の米澤サエさんであり、笑顔で記念品を受け取る姿に大きな祝福の拍手が贈られました。式典の最後には入所者を代表して高橋ナツさんより感謝の言葉を頂戴し、

盛大とは言えないまでも、健康と長寿を皆さんで喜び合う素敵な催しとなりました。お昼の豪華弁当が祝福ムードを一層高め、明日への英気をしっかりと養ったぶなの園の皆さんでした。



百歳超えのツーショット



理事長より記念品の贈呈

小さくても大きな収穫

春に利用者さんと一緒に植えたプランターの花や野菜の苗、利用者さんはもちろん職員的心も癒してくれました。今年植えられた野菜はサツマイモと落花生。例年に比べ、葉の茂り具合が小さいような…。10月下旬の晴天の日、利用者さんとサツマイモ堀りを行いました。うんとこしょ、どっこいしょ。大きな期待とは裏腹に小さなサツマイモがコロコロコロ…。「なんたらめんこい!」、「あやさ〜」ミニミニサイズの姿に笑い声があがりました。さてさて、どんな料理にしたら皆が喜んでくれるのかな?

デイサービスぶなの園



かわいいお芋を手にニコリ

雑巾がつないでくれた交流

手芸グループでアクティビティ活動として制作している雑巾。いろんな汚れを吸収してすぐに捨てられるものですが、利用者の皆さんは心を込めて一針一針丁寧に縫いあげています。町内の学校等にお持ちすると大変喜ばれ、制作意欲に大きくつながっているようです。秋に町内の保育所に訪問して雑巾をお渡しした時には、お礼に利用者の皆さんの前で遊戯や歌を披露してくれました。こんなかわいいお返しをもらえるなら毎日でも届けたい!そんな眼差しで子どもたちを見つめる皆さんの表情が印象的でした。

デイサービスがたくりの園



子どもたちと一緒にパチリ!

■我が家の紅葉狩りは、ここ数年栗駒国定公園を目指す。10月16日は、胆沢ダムから秋田に入り成瀬ダムの建設現場を視察。須川温泉経由で小安峡に下り、道の駅おがちの産直に立ち寄る定番コース■成瀬ダム工事は、作業の安全と効率化を図るため鹿島建設が開発した自動で動く大型ダンプやブルドーザーが稼働中で、その様は壮観。標高も高く冬季は積雪3mになるため作業は1年のうち6ヶ月間しかない。新たな橋も完成し毎年変わる景色は感動もので令和8年の完成が待ち遠しい■ブナやカエデ、ナナカマドなどの紅葉と松や杉の緑とのコントラストがいい。栗駒が近くなると眼下に広がる雄大な景色に心も洗われる。須川は登山客も多く駐車場は満杯で素通り、小安峡まで下るとまだ色づきが薄くトイレ休憩のみ■道の駅で旬のリングオをゲットし帰路につく。走行距離190km、所要時間5時間40分、コロナ禍での短縮ドライブ。



総括施設長 佐々木

やすらぎ会 事例研究発表会



先してどう動けばよいか、考えられる問題点は何かなどを考察した内容でした。実際の訪問先での発生を想定することでよりリアルにシミュレーションすることができ、非常に大事な備えになるはず。他のチームも大変良い評価をいただき、職員間の相互理解も深めることができた時間となりました。

やすらぎ会の事例研究発表会は19回目を数え、10月28日に開催されました。今回は4組が参加し、日ごろの業務で抱えている悩みや課題、その解決に向けて取り組んでいることや成果などを発表。写真や動画、音声を使用しながら各組とも発表方法には工夫が見られました。西和賀町健康福祉課長、社会福祉協議会事務局長のお二人に審査をお願いし、最優秀賞に輝いたのはホームヘルパー3名のチーム、表題は『自然災害に遭遇! 私たちはどうすればいい?』。ヘルパー訪問中に大きな災害が発生したと想定し、何を優



トロフィーを受け取るヘルパーチーム

福祉まつりに出展

10月1~2日に銀河ホールと悠々館で開催された福祉まつり。やすらぎ会ではデイサービス利用者が創作した作品を出展させていただきました。幼児から小中学生、高校生、そして各団体で活躍されている方やご高齢の方々まで、鑑賞しているとその鼓動や息づかいが聞こえてくるよう。素敵なコラボレーションだなと感じました。



来場者の目をひく作品

高水圧で窓の汚れスツキリ

採光、通風、換気、眺望など様々な役割がある窓。でも、窓の掃除はかなり億劫なもの。効率化を図るため法人で小型吸水ポンプと農業用貯水容器を購入し、一緒に軽トラに積んで高圧放水しながら汚れを除去しました。内側の汚れは各部署ごとに担当箇所を決め、丁寧に拭きあげています。大きな建物なので時間と労力がかかる作業ですが、これで気持ちよく年末を迎えられそうです。



水しぶきを浴びながら作業

あたたかい善意を頂戴し厚くお礼申しあげます

令和4年9月1日～10月31日

【ご寄付】

- ・有馬 英夫 様
- ・高橋 正慶 様

【ご寄贈】

- ・深澤 洋子 様
- ・藤田 重信 様
- ・石川 勸 様
- ・西和賀町商工会女性部 様



ぶなの園職員及び利用者に新型コロナウイルス感染者が発生しております。現在、中部保健所や西和賀さわうち病院のご指導をいただきながら、日常の動線を区切る等により感染拡大防止に努めております。利用者及びご家族様、そして地域の皆様に大変な心配とご迷惑をおかけしており、心よりお詫び申し上げます。なお、感染の状況等は随時ホームページに掲載しております。

施設長 佐々木 一

【感染者数】

- 職員 4名
- 施設入所者 2名
- ※11月10日現在

あしあと

【9月】

- 6日 出張理容
- 8日 コロナワクチン接種4回目
- 14日 コロナ対策本部会議
- 15日 入所検討委員会
- 16日 敬老会(15日まで)
- 16日 広報やすらぎ発行
- 20日 住民の健康を祝う集い
- 22日 敬老会弁当
- 22日 特養第三者委員現場評価
- 22日 秋の彼岸法要
- 26日 かとくり第三者委員現場評価
- 26日 コロナワクチン接種4回目(第2班)
- 26日 出張理容
- 26日 コロナ対策本部会議

法人の主な動き

【10月】

- 4日 出張理容
- 7日 防災盤交換工事(6日まで)
- 7日 特養第三者委員現場評価
- 11日 コロナ対策本部会議
- 12日 環境整備作業(窓拭き)
- 13日 総合避難訓練(夜間想定)
- 13日 西介情報公表訪問調査
- 14日 ラーメンバイキング
- 18日 在宅第三者評価委員会
- 25日 コロナ対策本部会議
- 26日 法人内部監査
- 27日 理事会
- 28日 事例研究発表会

やすらぎ会ホームページ最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



http://yasuragikai.com/

編集後記

本誌2面で窓掃除の様子をご紹介しました。クモの巣には苦勞したもの、作業前と比べるとだいぶきれいになっています。入所者の皆さんに快適に過ごしていただきたい。そして透明性のある法人運営にも努めていきたい。そんな思いです。

やすらぎ会広報委員会

- 中堰 香 藤原江利子
- 高橋知英子 石川 大地
- 高橋 涉

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389